

担当教員授業題目	野外実習 I (富山大学)				担当教員	和田直也／石井 博	
英文授業名	Field Trip I				副担当教員		
単位数	1	講義期間	前期その他	曜日・時限	集中：9 月中 旬から下旬	対象学年	2
授業形態	実習	備 考	5名まで受け入れ可能。新型コロナウイルスの感染状況により、変更や中止とする可能性がある。				
(1) 授業のねらい 本実習は、富山県内の立山黒部アルペンルートを活用し、立山の山岳環境や垂直的な生態系の変化等の特徴を活かして、生態学や地学の観点から自然を読み解く観察眼を養うことを目的としている。実習で観察した各項目については、後日課題をレポートにまとめることで、体験に基づいた知識を得ることも本実習のねらいの一つである。				(授業計画の続き)			
(2) 授業の概要 野外実習を実施する直前に、観察の対象となる自然環境の理解を深めるため、事前学習／講義を行う。登山を含む野外実習は、9月中旬から下旬にかけて2泊3日で行う。実習終了後、約3週間以内にレポートをまとめ提出する。				3-3) 野外実習 (9月中旬～下旬の3日間) 2泊3日の野外実習を実施する(集合場所：富山地方鉄道立山駅。宿泊先：立山室堂山荘を予定)。ハイマツの伸長成長の測定(浄土山)、高山植物の観察・同定(室堂平)、周氷河地形、火山地形(室堂山)、火山性ガスと植生(地獄谷・リンドウ池)、湿原(弥陀ヶ原)、立山杉-ブナ林(美女平)の観察等を行う。天候が良ければ雄山(3,003m)に登山。最終日には、立山砂防カルデラ博物館を見学する予定。			
(3) 授業計画 3-1) 事前学習と実習参加準備 与えられた課題について、情報を収集する。実習に必要な費用、装備等のガイダンスを、電子メール等により実施する。 3-2) 事前学習 立山の自然環境の特徴について事前に課題を出すので、それに関して事前に学習しておく。				3-4) 課題レポートの提出 10月上旬までにレポートをまとめ提出する。 (4) 成績評価の方法 実習に取り組む態度及び提出されたレポートによって評価する(評価点90点以上をS, 89-80点をA, 70-79点をB, 60-69点をC, 59点以下を不可)。 (5) 履修上の注意 軽登山(トレッキング)の装備が必要である。本実習は、富山大学理学部生物圏環境科学科二年生の履修生と合同で実施する。また、旅行保険の加入も必要である。			
				(6) 質問、相談への対応 電話及び電子メールにて対応する。 和田<wada@sci.u-toyama.ac.jp>, 石井<hishii@sci.u-toyama.ac.jp>			
【教科書】なし				【参考書】立山実習テキストを配布する。			